

科目名		科目群	単位	配当年次	担当教員
公共経済研究		B群	2	1・2	加藤竜太
授業の概要・到達目標					
市場経済を前提としながらも、公共部門は存在している。経済学の枠組みを用いながら、公共部門の活動がどのように市場経済に影響を与えるかについて講義する。前半はミクロ経済学をベースとしながら、課税などの政府活動がどのように各経済主体に影響を与えるかについて説明がされる。後半はマクロ経済学をベースとしながら財政赤字や公的年金などの政府活動が経済全体にどのような影響を与えるかについて講義される。ミクロ経済学、マクロ経済学の予備的知識はある程度前提とされるが、数学的な基礎は前提としない。					
授業内容					
1	イントロダクション	市場経済に於ける政府活動			
2	国民と投票	選挙制度の経済分析			
3	政党と政策	政党行動の経済分析			
4	不完全競争	不完全競争の弊害と余剰			
5	規制	政府による規制と社会余剰			
6	外部性	市場の失敗と政府活動			
7	公共財	公共財の供給と政府活動			
8	公共支出の評価	費用便益分析			
9	課税 I	消費課税			
10	課税 II	所得課税			
11	財政赤字と公債	公債の中立性と財政赤字の負担			
12	年金	公的年金制度と世代間の負担			
13	医療と介護	我が国の公的医療保険と介護保険			
14	再分配政策	個人間と地域間の所得再分配			
15	論点整理	a: 試験 b: 論点整理と正答の解説			
履修上の注意点					
高度な経済学の基礎は前提としないものの、経済学の基礎はある程度前提とする。					
準備学習(予習・復習等)の内容					
経済学の予備的知識に不安のある学生には個別に参考書等を紹介する。それらの参考文献を事前に学習することが必要である。					
教科書					
井堀利宏(2015)「公共経済学(第2版)」新世社、ISBN 978-4-88384-230-8					
参考書					
公共経済学のテキストは多く出版されており、どのテキストを参考としても良い。一方、以下の参考書をあげておく。 小塩隆士(2016)「公共経済学」、東洋経済新報社、ISBN 978-4-492-31473-9 寺井公子(2015)「私たちと公共経済」、有斐閣、ISBN-10: 4641150206, ISBN-13: 978-4641150201					
成績評価の方法					
筆記試験を実施するので、筆記試験の結果が70%、簡単なレポート提出が30%。					
その他					